

異なる物理指標間の空間的相関の時間変化に基づく地殻現象理解（取り組み概要）

Understanding of crustal activity based on temporal changes of spatial correlations between various geophysical measures (outline)

河村 将 [1]; 工藤 健 [2]; 山岡 耕春 [3]

Masashi Kawamura[1]; Takeshi Kudo[2]; Koshun Yamaoka[3]

[1] 中部大・地球ウォッチ; [2] 中部大・工; [3] 名大・環境

[1] EWSN, Chubu Univ.; [2] Chubu Univ.; [3] RSVD, Nagoya Univ.

日本列島で発生する内陸地震は列島を取り囲む4つのプレートの相互作用による地殻活動の反映である。この地殻活動を反映した地震活動、GPS、重力異常、地温勾配等の各種地球物理データを収集して、2種類ずつのデータから得られる散布図中のパターン・空間的相関の時間発展をさまざまな地域でモニタリングし、地殻で起こっている物理現象を理解していくことが本研究の目標である。この目標に向け、解析地域・解析期間・使用データの組等を系統的に変えていながら地殻活動の特徴の普遍性、地域性、時間的特徴を明らかにしていく予定である。本発表では、我々の取り組みを紹介し、詳細な暫定結果の紹介は同セッションのポスター発表で行う。